

# 共 済 特 集

## 全 教 職 員 配 布

2016年5月25日号第1978号

# 埼 高 教 新 聞

埼玉県高等学校教職員組合

〒330-0063さいたま市浦和区高砂3-12-24

埼玉教育会館 6F

電話048-822-7421(代) FAX048-832-6791

http://www.saikokyo.or.jp

編集責任者：新島善弘

毎月5・15・25日発行 1部30円

組合員の購読料は組合費に含む

## 教職員の超過勤務は過労死ライン

## 病気休職は高止まり

# 実効ある「多忙化」解消のとりくみが急務

## + 助けあいの共済の役割増大!

4年前の全教の調査では、教職員の月平均時間外勤務と持ち帰り仕事時間を合わせると82時間以上で「過労死ライン=月80時間」を超えていました。文科省の統計による病気休職取得者の推移をみると毎年8500人程度(内精神疾患が約5000人)で高止まりの状態(H22~H26)が続いています。(下参照)

当局責任で実効ある「多忙化」解消策の実施が求められています。

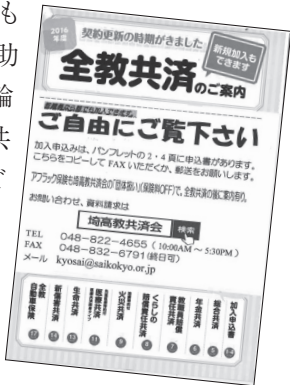
今年の6月は「全県一斉勤務状況調査」「ストレスチェック」に積極的にとりくみ、超過勤務と病気休職の大幅減少につながる労働環境改善を求めましょう。同時に6月は、埼高教共済の募集キャンペーン期間です。

## 助けあいの共済で「いのちと健康」「暮らし」「身分」をまもろう!

埼高教共済会は、埼高教の「多忙化」解消のとりくみとともに助けあいの観点から、全教共済を中心とした共済制度を全教職員にご案内し、「いのちと健康」「暮らし」「身分」を守ることを提案してきました。(趣旨と制度一覧は右参照)

会員の皆さんには、黄色の封筒でご自宅に、その他の教職員には職場の分会掲示板等にご案内を配布して

います。「注目はココ」が、裏面にあなたも教職員の助けあいの輪(埼高教共済)にどうぞ!



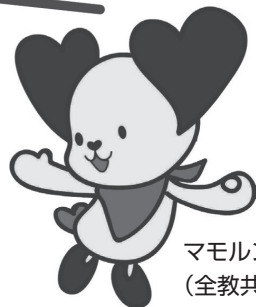
埼高教共済会は教職員の「いのちと健康」「暮らし」「身分」を守る運動を、埼高教のとりくみの一環として進めています。

全教共済(教職員組合の全国組織「全教」が運営する自主共済)を中心に、必要に応じて民間保険会社とも提携して、共済制度・保険を全ての教職員の皆さんにご案内しています。

### 埼高教がつくる共済制度

ここがポイント!

- 職務上の賠償責任事案や重大自動車事故への遭遇など本場に困ったときに埼高教や代理店(むさしの保険事務所)が加入者、組合員を守るため全力を尽くします。
- 助けあいの全教共済は、利潤を求めず、CMなど巨額宣伝経費を掛金に上乗せしません。
- 提携民間保険会社にも、教職員組合として加入者目線で対応を求めます。(個人ではクレームが限界)



マモルン(全教共済キャラクター)

埼高教共済会の制度ラインナップ ▶ 職場の掲示板共用スペース等のご案内をどうぞ

### 全教共済各種

## 全国の教職員の助けあい

基本はこれ!

- 生命・医療・傷害共済 新規加入申込は6月末まで
- 総合共済、教職員賠償責任共済、くらしの賠償責任共済、火災共済 毎月15日までの申込で翌月1日加入
- 全教自動車保険 新規加入・他からの移行は随時受付
- 年金共済 新規加入受付は5月、6月、11月

教職員ならどなたでも

## 安い掛金で必要な保障を実現



### 全教共済にない制度

通院給付金(退院後)  
がん診断給付金(特約で複数回可)  
女性専用制度など  
アフラックがん保険  
(団体扱い保険料OFF)

新規・団体扱い移行申込は随時受付

教職員ならどなたでも

### 全教共済にない制度

長期療養収入補償制度  
生活保障プラン  
(携行品損害補償、キャンセル費用補償)で補充

## 新きずな

(明治安田生命団体契約)

毎年更新で、給付・運営費を除いて「配当金」でお返し  
新規加入申込6月末~9月中旬

埼高教組合員限定



お問い合わせ 埼高教共済会 TEL048-822-4655 またはメールは埼高教HP から

### 全教勤務実態調査2012<概要>

- ・教職員の1カ月の平均時間外勤務時間は、69時間32分
- ・持ち帰り仕事時間をみると、平日で12時間40分、土日で9時間1分
- ・平均時間外勤務時間を年齢別にみると、35歳以下の青年層の時間外勤務時間が突出

\*集約総数は、6879名分(男3521名、女3358名)、教諭等が5880名で全体の85.5%

### 公立学校教職員の人事行政状況調査結果(概要)より 病気休職者数(教育職員)

病気休職全体	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
8,660	8,544	8,341	8,408	8,277	
精神疾患	5,405	5,274	4,960	5,079	5,045

熊本地震で多くの家屋が倒壊した。驚いたことに、2000年に降に建てられたとみられる木造家屋も全壊している。建築基準法は1981年に、震度6強~7程度でも「人命に危害を及ぼすような倒壊をしない」とする新基準に変更され、さらに2000年、接合部の金具や壁の配置などに関する規定が強化された。それなのになぜ全壊したのか。日本建築学会の調査で、太さや長さが適切でない釘が使われていたり、壁のバランスが悪かったりするなど施工不良が多く見つかったという。▼下請け業者への単価切り下げも一つの要因だろう。か。施工不良を生む要因を排除できない限り、いくら新基準のもとでも安心できないという。▼ならば安心してできる補償を確保することは急務だ。日本は地震大国なのだから。安い掛金・最高の給付をめざす全教火災共済(地震特約付き)を多くの教職員に広めたい。(共済担当)



# 注目はココ! 1 「暮らし」を守る

**\* 地震災害をはじめ落雷、雪害など多様な自然災害にも対応する「火災共済」**

熊本地震で被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

地震大国日本、安全な地域はないということが改めて浮き彫りになりました。自主共済だから加入者目線で、被害者に寄り添う給付をめざしています。

大雪によるカーポート被害への給付も好評  
一昨年の大雪被害では、一般の火災保険で給付事例の少ないカーポート被害にも対応し、多くの加入者から好評を得ました。

**\* 安い掛金で必要な保障を実現し、家計に優しい「生命・医療・傷害共済」**

助けあいの共済だから利潤や巨額CM経費をかけないので、安い掛金、必要な保障が実現。先進医療への対応や終身医療タイプもニーズが高まっています。

**\* 「団体扱い」で民間保険も保険料割引や独自制度**

自主共済でカバーできない部分を民間保険会社と提携。加入者目線で交渉し、保険料割引や独自制度実現。

「くらしの賠償責任共済」(民間損保提携)  
月100円の掛金で家族全員の加害事故(自転車など)にも賠償額国内無制限・示談代行付きで対応します。

「長期療養収入補償制度」  
(「新さすな」オプション)

病気等による長期休業が余儀なくされた際には重要です。他にあまりない制度で、埼高教組合員向けに明治安田生命との提携でつくれた独自制度です。

**埼高教共済会 ONE POINT INFO**

アフラック保険(がん、医療etc)に  
市中代理店を通して加入中の方  
埼高教共済会の「団体扱い」の切りかえで保険料OFF!

**ぜひご相談下さい**  
TEL048-822-4655

# 注目はココ! 2 「身分」を守る

**「全教自動車保険」の事故対応はここが違う!(全教方式)**

通販型などの自動車保険は掛金が安いかもしれませんが、保険はいざというときにしっかり使えなければ意味がありません。教職員の場合は特にここに注目!!

**\* 重大事故の初期対応が違う!**

被害者救済を第一に、いち早く被害者に誠意をもって対応し、無用なトラブルを避けます。

また教員免許の失効を可能な限り避けるために、一般の事故対応のように

起訴・裁判等の経過を待つのでなく、スピーディに対応します。

**\* 「加入者の窓口は専属代理店、被害者対応は損保会社」のルールで事故対応**

忙しい教職員個人が損保会社とのきめ細かな対応をおこなうには限界が…。しかし、そこに埼高教と連携した教職員をまもる専属の代理店(むさしの保険事務所)があれば心強いこと請け合い。

総合共済とセットでどうぞ  
(掛金低額につき単独加入はできません)

**あなたをひとりにしません。**

**教職員賠償責任共済**

心配な事があつたらひとりで悩まないでまずは、組合・共済会へ相談

もしかしら?自分にも起こるかも...でもあなたをひとりにしません!  
これまでに業務中ハットしたり、ヒヤッとしたことはありませんか。この共済は困った時に組合や弁護士とも協力してあなたを支える共済です。

掛金は月**150円**  
最高**5,000万円**補償

例えば、こんな時に給付されます。

例えば、高等学校の野球部の部活動中の事故、顧問のノックした打球が部員の頭部にあたり脳内出血を起こして一週間の入院。  
→顧問が部員を入院先に見舞った際のお見舞金と、事後の対応についての弁護士相談費用を給付。

\*類似の事例において、必ずしも給付を約束するものではありません。  
なにか起こった場合には、ただちに組合・共済会にご相談ください。

# 注目はココ! 3 キャンペーン期間です

**\* 生命・医療・傷害・年金の各共済(本人基本契約対象)に期間中新規加入の方に QUO カードプレゼント**

**\* 教職員ライフステージの節目にうれしい給付、悲しいときに心温まる給付。しかも退職時に掛金全額が戻る、まさに全国の教職員の助けあいだからできる「総合共済」**

→通年で新規加入者に QUO カードプレゼント

**総合共済** 毎月15日締切、翌月1日加入 全国の仲間の助け合い 月600円の掛金で!

たとえば...

- 就職: 25歳 総合共済に加入 (月600円から...)
- 結婚: 28歳 1万円
- 出産(2人目): 33歳 5万円
- 自然災害: 48歳 1万円
- 退職: 60歳(加入から35年後) 掛金合計 252,000円 退職退会給付として (掛金全額が戻ってくる!)

独身の方はクリスタル給付※ 2万円

29歳 出産 5万円

43歳 結婚満15年 2万円

53歳 1か月の欠勤 1万円

**全教自動車保険**

**あなたをマモルン 見積りキャンペーン 実施中**

①見積りを依頼していただいた方に!  
②見積りのご紹介者にも!

さらに...  
ご加入者には抽選で「ドライブレコーダー」プレゼントのチャンスが!

「ハーゲンダッツギフト券」をプレゼント!

詳しくはむさしの保険事務所へ  
TEL 048-833-1918

契約更新の時期がきました 全教共済のご案内

重要

全教共済の「団体扱い」について

全員の教職員の助けあい(全教共済) 自主共済だから掛金がリーズナブル、長期継続と比べてみて!

自主共済の足りないところを補う「アフラック」(民間損保提携)もご案内しています。

加入継続可能年齢、この年齢まで、必ずご確認ください。

**■お知らせ■**

総合共済、年金共済の2016年度からの取扱い変更(詳しくは会員に送られる黄色の封筒内の文書をご覧ください)

- 加入継続可能年齢を65歳に延長(教育現場在職が条件)
- 退職等給付は、全職種とも退職を要件とせず、60歳の年度末以降可能に

自宅に郵送の「黄色封筒」や職場の掲示板等のご案内をご覧ください。